



自治会活動が目指すもの

これからも、豊かな自然に恵まれ、心豊かな生活が営まれる武蔵台でありたい！ そのためには・・・

こま武蔵台自治会会長 土井 太郎

みなさまには、日頃より自治会活動にご理解ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。さて、28年度も残すところ僅かとなりました。昨年を顧みますと、高麗郡建郡1300年という歴史に残る盛大な祭典や数多くの行事が繰り広げられ、日高市全体ではお祭りムードの漂う年でありました。その一方で、九州地方の大震災や台風による風水害が各地で発生して大きな被害をもたらし、自然の脅威がいまだに記憶に残る年でもありました。

私たちが住むこの地域は、比較的地震や水害に強いと言われてはいますが、普段から防災意識を高めておくことが大切であります。豊かな緑と清流に囲まれ、大変良い自然環境の武蔵台ですが、少子高齢化が進むにつれ、独居世帯や空家が増えてまいりました。将来も自然豊かなこの場所で、終の棲家として安心して住み続けられる街にする為には、日々の生活の中で、住民同士がお互いに立場を尊重し、絆を深め合うことがますます必要なことではないだろうかと考えています。

これからの自治会の果たす役割と期待は

3月26日には第38回総会が開催されます。この一年間の自治会活動のご報告を行うとともに、新しい年度に向けた取り組みを決めるいわば自治会活動のスタートを飾る大変重要な話し合いの場であります。どうか皆様には大勢ご参加いただき自由活発に忌憚のないご意見をお聞かせ願いたいと思います。

私事になりますが会長職に携わること早5年の歳月が光陰矢の如し通り過ぎてしまいました。5年間これといった実績も残せませんでした。唯一自信をもってやり通したことは、「何事にも会員の為に迅速に対応した」ことでありました。失敗もありましたが、大過なく自治会運営を続けてこられましたのも、会員皆様はじめ関係諸団体の心温まるご支援と叱咤激励を頂いたお陰と心より感謝申し上げます。ありがとうございしました。来る総会にて会長職を退きませんが、今までと同じ気持ちで皆様と一緒に武蔵台の発展に微力ではありますが頑張つてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。結びに、皆様はじめご家族のご健勝をお祈りし挨拶とさせていただきます。

更に大きくなってくるものと考えます。しかしながら、役員だけの力では何もできません。何といっても主役は会員皆様です。一人でも多くの方が自治会に関心を持って頂き、ご協力頂きたいと思っております。



第351号	
発行	こま武蔵台自治会
	☎982-3904
編集	広報部
発行部数	2,500部(単価47円)

こま武蔵台自治会 定例総会開催のお知らせ

第38回定例総会を次の予定で開催いたします

**■日時：平成29年3月26日（日曜日）
午後1時より午後3時まで**

■場所：武蔵台公民館 多目的ホール

総会での主な報告及び決議予定事項は次の通りです。

- ・平成28年度活動報告と決算報告の承認
- ・平成29年度活動案と予算案の承認
- ・自治会館の改修に関する準備状況と予算案について
- ・平成29年度役員を選出

できるだけ多くの自治会員の皆様に参加して頂けるように願っております。尚、当日参加できない会員は、平成29年3月20日午後3時までに委任状を班長または自治会館まで提出願います。

平成28年度（1月） 第10回定例役員会報告

平成29年1月21日（土）

午後5時30分～6時30分

自治会館2階会議室

◆Ⅰ 協議事項◆

(1) 新班長会議開催から見えてきた問題点の整理

どんな問題点が出てきているか、問題点の抽出と次年度に向けて今後の在り方について検討

(2) 総会への準備について

a 28年度活動報告並びに収支見込みについて（会計は2月提出）

b 29年度活動方針（案）並びに収支（案）について（会計は2月提出）

（各部28年度データはUSBで配布）
c 総会議案提出案件について

3号議案 自治会館改修の承認について

◆Ⅱ 会長・区長からの報告◆

(1) 会長

a 28年度中に自治会館フェンス脇の樹木伐採並びに歩道脇の草木整備実施

b 中央通り舗装工事1月8日完了しました（27年度区長要望）

c 12月14日（土）新春の集い実施

d 1月18日（水）くりくり体操スタート・地域ケアマネ連絡会議

e 1月19日（木）武蔵台福祉ネット役員会

員会

f 1月20日（金）台っこスクール開催（防災学習）

g 1月22日（日）移送サービス住民説明会 午後1時30分（武蔵台公民館）

h 1月28日（土）29年度役員推薦会議

i 1月29日（日）奥武蔵駅伝開催

j 2月4日（土）29年度3役並びに監査役選出会議（新役員全員出席）

k 2月6日～新旧役員引継ぎ準備開始（引き継ぎ書による説明並びに指導）

(2) 区長
a 歳末助け合い募金集計結果329、1999円 ご協力感謝申し上げます。

b 町内設置の防災（ホース、消火器）格納庫塗装改修実施

c 自治会館横の樹木伐採（日高市、西武鉄道）orフェンス幅拡張

d 山車倉庫脇からダストボックスまでのフェンス沿いの草木刈り取り

e 1月4日（土）日高市並びに関係機関挨拶廻り

f 1月6日（金）日高市コミュニティ協議会（ごろんご幼稚園）風作り指導

g 1月7日（土）日高市消防団出ぞめ式出席

h 1月8日（日）日高市成人式出席

i 1月18日（水）日高市社会福祉協議会3役会議 10時

j 1月20日（月）日高市区長会並びに区長推進会議

k 1月24日（火）日高市コミュニティ協議会3役会議

12月27日（火）公共施設検討シンポジウム（日高アリーナ） 10時
以上

平成28年度（2月） 第11回定例役員会報告

平成29年2月18日（土）

午後7時～9時8分

自治会館2階会議室

◆Ⅰ 協議事項◆

(1) 29年度新役員確定確認

a 3役（会長・副会長・事務局長・監査役）
b 本部役員（再任者・地区選出役員・地区区長）

(2) 総会へ向けて

a 議案書の精査
b 28年度活動報告並びに29年度活動方針（案）について

自治会館修繕・増床議案について
29年度行事スケジュール（日程案）の検討

29年度収支計画（案）について
b 総会当日の役割分担

自治会腹案（議長・書記・議事録署名）
総司会者、議案説明者

c 総会委任状の取りまとめについて
d 増改築の理由について

(3) 自治会館改築検討委員会答申報告

◆Ⅱ 会長・区長からの報告◆

(1) 会長

a 2月2日（木）自治会館裏側の樹木伐採完了

b 2月4日（土）日高市凧揚大会の連凧糸切れにて、武蔵台団地に飛来事故発生

c 2月8日（金）日高市交通政策課「自主運行」について来館打ち合わせ

d 2月9日（金）武蔵台福祉ネット役員会

e 2月9日（木）1丁目47番ダスト脇緑地草木刈り実施

f 2月10日（金）飯能警察署合同にて7丁目主体に防犯キャンペーン実施

g 2月11日（土）自治会館駐車場フェンス拡張工事完了

h 2月15日（水）武蔵台小学校評議委員会

i 2月18日（金）武蔵台中学校創立記念実行委員会

(2) 区長
a 2月7日（火）日高市健康保険審議会

b 2月23日（木）日高市社会福祉協議会

以上

おくりやみ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

辻沢 八千代（95歳） 一十九日三十三日
ご逝去日 十二月三十日
鈴木 てつ子（92歳） 三十三日十八日
ご逝去日 一月八日
東條 邦雄（80歳） 二十六日十二日
ご逝去日 一月二十三日

自治会専門部の部長さんに聞く

平成28年度自治会の専門部長の任期満了を迎えるに当たり、1年間の活動を通し考える『今』と『これから』について各部長さんに次の質問をし、考えをお聞きしました。

Q-1) 担当部門の活動を通して、強く感じたり考えたりしたことはなんですか？

Q-2) 次年度へ向けて、どのようなことが部門の課題と考えますか。また、それをどうしていきべきと思いますか？



安全対策部 部長 世良田俊郎

A-1 ① 日常活動の安全パトロール（防犯・交通安全）が、安全対策部員（約30名）の負担になっている（高齢者の健康・家族で仕事を抱える等）。

② 団地全体（2,300世帯）の防災訓練の計画と実施が難しい。

A-2 ① 安全対策部員数を増やし、各部員がカバーし合って負担軽減をすべきと思う。

② 市の総合防災訓練では、当自治会の規模を考慮した計画立案にする必要がある。例えば周知徹底のため補助金増額や安否確認担当を2人制にするなど。



環境衛生部 部長 村端通夫

10年あまり自治会活動に携わって思うのは、自治会は何を何処まで活動するのかという疑問です。近年、サンデー毎日の健康な方が増え、大掃除では男性も多く参加頂けるようになりました。自治会活動でも同様な背景から、活動が多岐にわたり、深く行うようになる一方、それが次世代の方に、「自治会活動や役員の負担が大きくなっている」という印象を与えているように思えます。地域の活動は、種々の団体を立ち上げ、自治会は場所と助成金を提供するような組織・運営にすることが必要なのかな？と自問しますが、答えは見出せないうです。

環境衛生部の大きな課題は大掃除です。「担当する場所」「いつも参加しない方がいる」「実施の回数」などの問題を抱えています。ご近所同士が顔合わせの有意義な機会です。いかに負担を軽くし存続させるかを考える時期かも知れません。有償ボランティア活動と併用することも今後の検討課題と思います。

もう一つの課題は、一部の方のモラル低下です。決められた日に、決められた方法でゴミを出す。ご自宅の植木は通行及び隣地に迷惑をかけない。この簡単な決まり事を守ること心で心地良い生活環境が維持できるのです。



文化厚生部 部長 鳥井章男

A-1 日帰りバス旅行の盛況ぶりに反して、毎回の武蔵台サロンへの参加者数の少ないことが、年間を通しての悩みです。

できるだけ多くの人に来ていただきたいと考えています。

A-2 自治会館で毎週水曜日の午後1時～3時に開催している「くりくり元気体操」は人気があり、多数の人達の参加がありますので、同日午前にサロンが開催される日は、サロンの方への参加も呼び掛けていきたいと思ひます。



体育部 部長 皆川泰山

A-1 駅伝の選手募集について、団地内で新たに選手を募ったり、団地を離れた選手の皆さんと連絡を取って駅伝参加が出来たこと。

A-2 課題は、開催行事について参加人数が少なくなっていること。新たなスポーツ種目を採用するなど、市関係者や他団体と連携し、高齢の方からファミリー、子どもまで楽しめるよう一層工夫した対応が必要になっている。



広報部 部長 柳沢弘二

今、自治会活動はどのような動きをしているのかを伝えるだけでなく、私達が住む街の知識と理解を深め、街への愛着を深めてもらいたいと思ひながら広報誌の編集に取り組みました。

今後の課題は、学校、病院、福祉施設、ショッピングセンターが揃っている武蔵台の素晴らしさを積極的に知らしめ、子育て世代の方々が1世帯でも多くこの街に入って来て頂けるように、ポジティブな情報の発信誌の編集に努めることと考へます。



会計部 部長 北澤健司

会計部長を務め、資金の動きを通じて自治会活動全体を理解しました。会費収入等が減少する中、活動は従来の盛んな時期の行事等を継承しており、高齢化対策及び経年劣化する設備の補修費用等の支出増大も重なり、収支バランスが崩れる傾向を感じました。

今後の課題は、自治会行事、組織、役員構成等を見直し、少子高齢化に対応した自治会に変えること。そのためには、会員皆様が問題意識を持ち、本部任せとせず、情報共有をして課題に取り組む必要を感じました。

班長ネットワークがご近所、地域の絆を支える

約2,300世帯が生活をする私たちの街で、各地区の班長さんのネットワークは、地域の生活情報の伝達や日々の暮らしの中での絆を育む重要な役割を担っています。今年も、各丁目の地区長さんは、地区と自治会本部とのパイプ役として大変活躍をしていただきました。今年度を終わるにあたり、7丁目の地区長、小林氏に1年間の活動を経ての感想をお伺いしました。
(広報担当記)

地区長を務めて思うこと

7丁目地区長 小林令人

地区長・本部役員として、毎月の自治会活動の周知を7丁目の皆さんに少しでも図りたいと思い、回覧で情報の発信に努めました。

自治会役員は駅伝のように与えられた区間の責任を持ち走り抜き、次の方へたすきを確実に渡すことと似ています。大掃除や体育祭、夏祭り、新春の集い、各種文化厚生行事、防災防犯や福祉ネットなど地域との連携が大切になります。街の生活クオリティーは、豊かなコミュニケーションにより、安全で安心できる生活環境がいかに守られているかにかかっています。

継続は力なりのお通り、自治会歴代諸先輩の方々

や各ご家庭による長年の活動を通じ初めて現在があると感じられます。今後10年ほどの間に、現在のよう自治会活動の維持が可能かどうか、不安材料が多々出てきています。お互いの助け合いにより安全安心の街づくりが益々求められてきています。自治会員は武蔵台の街のクオリティーを自治会活動により享受できます。武蔵台で互いに助け合える住民コミュニティを構成する自治会活動の一端を1年だけですが経験できました。1年間にわたり自治会会員の皆様方のご協力に対し感謝申し上げます。有り難うございました。

新春の奥武蔵路を6人でタスキをつなぐ！

第15回奥むさし駅伝が、1月29日に開催されました。私たちの街からは、武蔵台・横手台地区体協チームとして出場しました。選手・関係者は、忙しい年の瀬に阿須運動公園で初練習と、1月15日に役員関係者が武蔵台公民館で打ち合わせ、および本コースでの実地練習を経て当日を迎えました。

当日は、風もなく、日差しは温かく、駅伝には絶好の天気。一般の部は140チームが東飯能駅から一斉にスタート。1区の大石恒司選手は3位で2区鯉沼龍矢選手へ。この区間は途中から登りが続く。3区は生澤卓選手。この区間も西吾野の折り返し点まで登りが続く厳しいコース。4区鯉沼龍司選手は西吾野を折り返し復路へ。続く5区で瀬戸健人選手が吾野から東吾野へと下り、6区の嵯峨直也選手が飯能銀座通りのゴールへ激走。

今回の応援取材は、まずは滝不動からスタート。お囃子連の周りでは多くの方が小旗を振って応援。選手のスピードに圧倒！次に西武鉄道の臨時電車で吾野中継点に移動。最後は飯能駅に戻り、嵯峨選手を飯能銀座通りで応援。

選手のみなさん、大会役員のみなさん、当日早朝から沿道で声援を送られた地区のみなさん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

ちなみに、ピンクの応援旗のイラストは、「634」（むさし）と手のひらを横に向けたイラスト（よこて）でした。

来年の活躍にも期待したいと思います。来年も応援に行きますね。
(取材：広報・渡辺)

【桂監督の話】 囃子連をはじめ多くの方々から応援を頂き感謝いたします。成績は地区体協の部7位でしたが、みなさんの応援は選手達に大きな力となりました。来年はもっと頑張ります。



ゼッケン209、武蔵台・横手台地区体協チーム頑張れー！



囃子連も朝早くから寒い中、頑張りましたー！

移送サービス実施に関する住民説明会開催報告

移送サービス検討委員会では、「移送サービス実施素案」を作成し、平成 29 年 1 月 22 日（日）武蔵台公民館にて住民の皆様へ説明し、意見交換をおこないました。説明会では、「利用できる人の条件は？」、「利用の仕方についての具体的な意見」など、建設的な質問や意見で終始しました。検討委員会では、当日得られた意見などを参考に実施計画書

を修正した上で、10月のサービス開始に向けて次のように作業を進めていきます。

- ・ボランティア活動協力員の募集 - 4月
- ・関係団体との協議 - 4～5月
- ・車両の発注 - 6月

（自治会移送サービス検討委員会 委員長 桂）

フレンド幼稚園園長さんに聞く

毎年、夏祭りには私たちをホット和ませてくれるポスターを描いてくれるフレンド幼稚園の皆さん、いつもありがとう！

本号では、園長さんに幼稚園の今と将来についてお話を伺いました。

（広報担当記）



地域の子供たちを育てる思いで 40 年！ 若い子育て家庭が住みやすい環境づくりを担いたい！

フレンド幼稚園長 須藤 愛子

毎年、秋の武蔵台公民館主催の文化祭にフレンド幼稚園の園児たちも参加させていただいています。園児の参加もさることながら、私が心ときめくのは、20年、30年以上も前に卒園した子の保護者の方々が、元気にご活躍されている姿に会えることです。普段はなかなかお会いできないので、懐かしいのと嬉しいのに加え、何と言ってもありがたい気持ちがかみ上げてきます。それは、この園が今あるのは、この方たちのおかげだと思っているからです。いつも、そのことを忘れることはありません。

昭和53年4月、フレンド幼稚園は武蔵台の片隅で産声をあげました。創成期の幼稚園は理念だけが先走り、不安定な存在だったと思います。それを支えてくださったのが、先ほどのさきがけの皆さんの、

「我が子だけでなく地域子どもたちとして、みんな育てよう！」という地域づくりの精神でした。あれから40年近く経った今もフレンドにはその精神が脈々と受け継がれています。そして、親も一緒に育ち合う園に成熟しました。今は、卒園児が二千名を超え、その二世が何人も通ってくれています。親同士の絆と、ボランティア精神の礎を築いてくださった武蔵台の保護者の皆様のおかげです。

そのフレンド幼稚園は、実は今生まれ変わろうとしています。まだ計画の段階ですが、園舎を建て替え、保育園機能を加えた「子ども園」として再スタートする予定です。若い家族が住みやすい環境づくりの一躍を担うことができれば幸いです。

ある野犬のこと

リレー随想

先日、犬を連れて鉄道の小旅行をしました。外房線のある駅で乗り換えのため列車を待っていると、中年の犬好きの女性が私に話しかけてきました。やがて待っていた列車がプラットホームに入ってくると、私とその女性は相席で座りました。その女性によると、以前、その女性の旦那さんが犬を飼っていた時のことです。ある朝、一匹の野犬がその家の飼い犬の犬小屋に収まっていたそうです。最初は驚いていた主人が、その野犬も飼い始めると、やがてその犬は近所でも評判の賢い忠犬となったそうです。飼い始めの頃は、野兎を捕え、バリバリと丸ごと食べていたそうです。そんな荒々しい犬が家族の中で主人にだけ懐き、絶対服従だったそうです。人間を信用し死ぬまで主人に尽くしたとのこと。

たまたま一緒に乗り合わせた女性から聞いたこの話に、犬と人間の力や力した心の交流を感じました。殺伐とした世の中で、必死に生き抜く犬が幸運にも心ある主人に巡り会えて、ハッピーエンドになった、本当に耳に心地よい話でした。

（2丁目 女性 Mさん）

ツイート広場・つばやき交差点

ショッピングセンターに
カフェがオープン

毎月第3日曜日に開かれている朝市・ふれあいマルシェにたびたび出店をしていた「高麗ブルーベリーファーム」の石垣氏が2月にカフェをオープンしました。レンタルルームやレンタルボックスなどのシステムも取り入れ、地域に溶け込む試みも始めるとのことです。私も、こだわりのプレーヤーから流れる音楽を聴きながら極上のコーヒーとブルーベリーケーキを早速楽しんできました。武蔵台のちょっとしたオアシスにみんなで育てていきたいものです。



(7丁目、男性)

武蔵台グランドゴルフ愛好会
白寿目指して！
さあ、一緒にやりませんか！

日高市の体協や連盟が主催する「ひだか交流グランドゴルフ大会-ひだかかわせみ杯」が3月4日に日高総合公園で開催されます。今年も地区体協の推薦を受けて武蔵台グランドゴルフ愛好会から18名が大会に出場することになりました。愛好会会員は現在30名。毎週火曜、金曜日の午前中に中の田公園で練習をしています。一人暮らしやお子さんと二人暮らしの高齢者も多く、中には91歳になる方もおります。休憩時間は持寄りのお茶やお菓子を楽しみながら笑いの絶えない仲間たちです。

合言葉は『白寿-99歳』を目指そう！皆さん、一緒にやりませんか。見学、体験、いつでも歓迎です。(2丁目、平野光啓)



わが街・わが地域・わが暮らしの豆知識



みんなで椅子づくりを！

3月19日(日)11時から
ショッピングセンター広場で

広場にみんなが集まり、地元が誇る西川木材を使って、ワイワイ、ガヤガヤ椅子作りをやりませんか。当日は9時から「朝市・ふれあいマルシェ」も予定しており楽しい時間をみんなで共有したいと思います。できた椅子に早速座り、バーベキューの肉や野菜をつまみながら住民同士の歓談の場にしたいと思っています。

この企画は商店会が中心となり進めています。自治会や福祉ネットもサポートに加わり、ショッピングセンターのプロパーである(株)井門さんからも、地域活性化につながるPJと評価して頂き全面的なご支援も得ております。

尚、詳細は、3月になりましたら掲示板ポスターでお知らせする予定です。

(商店会 椅子PJ-WG)

奥武蔵竹工芸資料館を訪ねる
竹を愛し竹の豊かさを伝える

(2丁目 田上はるか)



安さ手軽さに押されて危うくなった伝統的竹工芸の技術を、絶やしてはならぬと作り守り続けてきた新井竹芸の新井正一さんが、私財をなげうって竹工芸の資料館を作りました。

高麗川に面した新井竹芸の同じ場所で1階がショップ、2階が資料館、地下が作業兼体験所の趣ある建物です。資料館ではこれまでのこの地での竹細工の足跡が見られ、農作業や暮らしに使われていた竹製品が沢山並んでいます。1階も2階も竹の持つ優しさ、豊かさがにじみ出ている空間です。

「竹林の竹よ、ここにいてこのまま老いて行くのも良いが、里に出て、多くの人々の心を、癒やしておくれ！」資料館の竹林の写真に添えた正一さんの言葉です。「奥武蔵」と付けた館の命名にも心意気を感じます。

場所：高麗本郷746
開館10:00～16:00
(火曜休館)



編集後記

本号は、小生が編集を担当する最後の広報誌となりました。広報担当を務めた2年間、多くの皆様から多大なご協力、ご指導を頂きました。ありがとうございました。これからも、会員の皆様が読んで楽しく、武蔵台の生活を考える一助になるような情報誌を目指す「武蔵台だより」に、多面的に協力をしていきたいと思っています。

(広報担当 柳沢)